

【看護師・助産師】

◎主な配属先、業務内容

■出先機関

県立病院（看護師）



- 患者さんの日常生活行動の援助および診療の補助を通して、安楽な入院生活が送れるように支援

県立病院（助産師）

- 妊産褥婦および新生児の看護、分娩の介助、保健指導等を通して、お母さんと赤ちゃん、そのご家族が健やかに過ごせるように支援

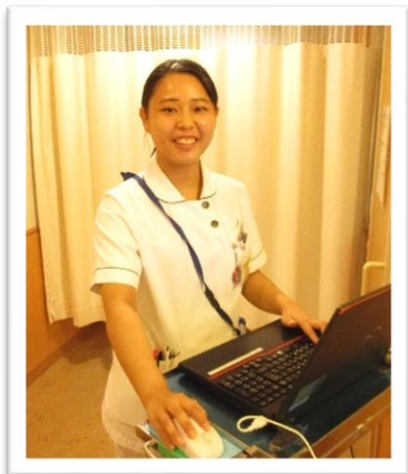


看護専門学校



- 看護師を養成するため、看護学生に対して必要な知識および技術を修得できるよう教育

【看護師】令和3年度採用



県立病院

田中 陽菜

(福井県立大学 看護福祉学部看護学科 卒業)



【主な担当業務】

- ・外科・皮膚科・呼吸器内科の混合病棟で勤務
- ・外科では、手術、がんの化学療法や放射線治療、疼痛緩和などの多岐にわたる治療を受ける患者さんをケア

◎ある一日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	12:00	13:30	15:30	17:15
業務開始、申し送り・医師とのカンファレンス	保清	検温・点滴実施	昼休み	入院患者受け入れ・術後患者のケア	業務カンファレンス	業務終了

◎福井県職員を志望した理由

私は大学で福井の文化や歴史などについての講義を聞き、**地元の福井で働きたい、教育環境が充実した職場で働きたい**と思うようになりました。また、**生まれ育った福井県のために何か貢献ができないだろうか**と考えていました。これらを実現できる場所を探した結果、今の職場であったため受験を決めました。

◎仕事をはじめて感じていること

私は、入職時に希望していた外科病棟で勤務しています。手術を受ける患者さん、手術を受けた患者さんが安全・安楽に過ごすことができる様に観察やケアを行なっています。**入職して1年目の私は、知識面、技術面共に未熟なところが多いですが経験豊富な先輩方が優しく指導やフォローをしてくださるのでやりがいを持って仕事に取り組むことができます。**

◎魅力・やりがい

福井県立病院はがん診療拠点病院、災害拠点病院など多くの役割を担い、更に三次救命救急センターを有しており、多種多様な患者さんを受け入れています。私は、どの様な疾患を持つ患者さんに対しても看護ができる様になりたいと思っており、**福井県立病院は自分の目指している看護師像に近づくことができる場所だ**と思います。また、**先輩方が熱心に指導してくださる温かい雰囲気**があり、**働きやすい職場だ**と感じています。

◎採用試験対策

筆記試験は、看護師国家試験の過去問など様々な分野から出題されると聞いたため**看護師国家試験の過去問題集を繰り返し解きました。**面接試験は**大学の教授と模擬面接を繰り返し行うことで自分の考えをまとめていきました。**本番で自信を持って受け答えができたのは練習のおかげだと思っています。

◎後輩たちへ一言

福井県職員であるという責任を背負うことはとても大きく大変なことであると感じるかもしれませんが、**福井県のために県民の患者さんに対して少しでも貢献できることは誇らしく思います。**自分の無力さにくじけそうになることも何度もありました。しかし、その度に先輩が優しく相談に乗ってくださり今でも楽しく仕事を続けることができます。**ぜひ、福井県民の皆様のために優しいスタッフと共に働いてみませんか。一緒に働くことができることを楽しみにしています！**

【助産師】令和3年度採用



県立病院

奥田 このか

(秋田大学 医学部保健学科 卒業)



【主な担当業務】

- ・主に妊婦・褥婦や新生児を担当
- ・新生児担当では、母親への授乳支援や、新生児の観察・バイタルサイン測定を行い、新生児が生後日数に応じた経過をたどっているかをアセスメントしながら看護

※県立病院の産科病棟では、主に担当を5つの業務（妊婦・褥婦担当、新生児担当、分娩担当、MFICU担当、産科外来・保健指導担当）に分類

◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、朝礼、申し送り、妊婦にノンストレステスト実施、術後の患者や安静が必要な患者の観察や保清の介助、採血、点滴等	12:00 昼休み	13:00 バイタルサイン測定、健康状態の観察、帝王切開手術などの手術前後の看護、入院の受け入れ	15:30 多職種カンファレンス、各種カンファレンス、電子カルテ入力	15:30 準夜勤務者への申し送り、師長ミーティング内容等の情報共有	17:15 終礼、業務終了
--	--------------	---	---------------------------------------	---------------------------------------	------------------

◎福井県職員を志望した理由

就職先を決める時、福井県で働くか、関東方面で働くか悩みましたが、やはり**地元の福井県で助産師として貢献したい**という思いが強かったです。県立病院は総合周産期母子医療センターであり、正常な経過をたどる妊婦やハイリスク妊婦など様々な方が来られます。また**新人看護師の研修も充実**しています。これらの点から、**県立病院は助産師として幅広く学ぶことができ、また成長できる環境**であると感じたため受験を決めました。

◎仕事をはじめて感じていること

私は、希望していた産科病棟で働いています。主な業務内容としては、妊婦や褥婦・新生児の看護と母親への授乳の支援を行っています。入社して7ヶ月が経過しましたが、日々先輩方に助けてもらいながら仕事をしています。学生の実習の時とは異なり、**一度に多くの患者を受け持つため、同時に業務を進めていくことの難しさ**を感じています。また、**学生の時よりも任されることが多くなった分責任の大きさも実感**しています。

◎魅力・やりがい

日々緊張感のなか仕事をしていますが、**患者さんから「ありがとう」と言われた時や、前はできなかったことができるようになった時にやりがい**を感じています。今後、分娩介助や保健指導など助産師としての新たな業務が始まります。新しい業務が始まることを楽しみに感じる一方で不安もありますが、**多くの経験を積み一人前の助産師になれるよう努力していき**たいです。

◎採用試験対策

採用試験には1次試験と2次試験があります。1次試験は専門試験と教養試験、2次試験は面接試験でした。1次試験は専門試験の出題が多く、教養試験の出題は数問でした。専門試験を1番不安に感じていましたが、助産師国家試験と似たような傾向の問題が多いと聞き、**国家試験の過去問題集を繰り返し解き対策**をしました。また面接試験は、**大学の就職支援課を利用してオンラインで面接練習**をして臨みました。

◎後輩たちへ一言

県立病院の産科病棟には、正常に妊娠期・分娩期・産褥期を経過される方やリスクの高い方まで様々な患者さんが来られます。私もまだまだ未熟で、緊急時はどのように行動すれば良いか分からない時もあります。しかし、そのような時は先輩方がどう対応するべきか丁寧に教えてくれ、また新人である私ができるだけ多くのことを経験し成長できるように配慮してください。**県立病院は充実した新人看護師研修や、プリセプター制度、PNS制度もあるため、新人看護師が安心して仕事に取り組むことができる環境**が整っています。また、多くの経験ができる場であると実感しています。一緒に働けることを楽しみにしています！